

## 「ベストプラクティス企業」に職場訪問を行いました

11月の過重労働解消キャンペーンの取組の一環として、時間外労働時間の削減などの働き方改革に向けた取組を積極的に行っている企業を「ベストプラクティス企業」として選定し、その企業の取組事例を広く紹介する目的で、熊本労働局長によるベストプラクティス企業職場訪問が実施されました。（令和6年11月25日）

ベストプラクティス企業には、アイシン九州株式会社（熊本市南区）、株式会社永井運送（宇城市松橋町）が選ばれました。両社は、自動車部品製造業とそれを輸送する運送事業者の関係にあり、発荷主と運送事業者の立場で連携して業務見直しの取組を継続中で、特に荷役作業や自動車運転業務に改善が見られました。

当日は、熊本労働局長金成真一がアイシン九州(株)の荷役作業現場を視察し、発荷主（アイシン九州(株)）運送事業者（(株)永井運送）が立会の上、出荷・輸送方法等の取組事例を収集いたしました。



取組を説明するアイシン九州園田生産管理部長（中央）



職場訪問を行った金成局長（右端）



取組を説明する永井運送西澤常務（左）



職場訪問の様子（会議室での取組説明）